

三 二〇一受信〇四四〇 譯了〇五四九
 譯始〇四五一
 電電〇〇八八九二六
 電電〇〇八九六五七
 諜 訊

昭和廿年參月廿壹日

作戰特別緊急

吳 鎮

◎ 大海參一部・聯合艦隊口・各鎮各警各戸
 第三、第五各航空艦隊戸

機密第二〇〇〇二八番電 四分ノ六三四

捕虜訊問遠報 其ノ一

一、第一五八特別任務部隊參加兵力空母十五 四群第一群ホーネット
 ベニンツトンワスブ ペロイウツド 第四群エンタープライズイ
 ントレピツド ラングレイ インデペンテンス第二群第三群捕虜ナ
 ク編制不詳ナルモボンホーム リチヤードヲ含ムコト確實

二行動

438

(4) 第一群一月一日本國ヨリ途中ハワイヲ經マウイ島ニテ一箇月訓練
 ウルシ經由南西諸島及關東方面空襲ニ參加
 一〇二七〇、一〇二七一、一〇二八〇〇、
 吳、片山、内山、清水、雨、谷

(ロ) 第四群 二月十八日 サンフランシスコ ウルシ島 直航

(ハ) 各群 トモ三月十四日 ウルシ島 出 戦艦八 巡洋艦二〇 駆逐艦四

○乃至五〇泊地 當時在泊 輸送船一内一五油槽船一何レモ海兵陸軍
乗船シ非ズ

四分ノ三未着

(以下四分ノ四)

早瀬港ノ一六〇度一二二渾及一七〇度一三〇渾

四十九日〇四四五ホーネツト(第一群指揮官タラト少將乗船)一照

ニ句マレ大傾斜スルヲ認メタル一掃廣アリ其ノ他被撃不明

五一五〇〇ポンド新型ロケツト彈始メテ用ヒ機上機ニ塔載空母ヲ目標

トシ攻撃セルモ命中セズ

(一) 報告 駆詰 六雷四分ノ三未着

(二)

昭和廿年 參月 廿壹日

三二〇 受信 〇〇四五三 譯了 〇九四五 電 〇九二三一 譯 訊

作戰特別緊急

吳 鎮

● 大海參一部。聯合艦隊口。第三、第五各航空艦隊口。各鎮各營

機密 第二〇〇〇二八 香電 四分ノ三

439

三企圖及攻襲 資料狀況

(イ) 日本航空兵力及基地ノ擊滅ヲ企圖ス上陸作戰ノ意圖ナシ攻襲日數 二日(三日トモ言フモノアリ) 歸投先不明

(ロ) 吳方面ハ最初主攻襲目標第十一航空廠ヲ令セラレタルモ十八日軍 艦多數在泊セルヲ偵知セル結果本十九日艦隊後之ガ攻襲ヲ發令セ ラレ在泊艦ヲ主目標トセリ

(ハ) 十九日〇四四五(發艦時) 第一至四群位置。

(ニ) 電信課註 本電口分ノ一三四號(配布)

通一〇二七九 呂一B(三七二一KG) 吳通 齊藤(雨谷)

大

三二〇 受信 一五五四 開始 六四〇 詳了 一七二九 電 〇九二〇五 作 稿

至 急

● 松山 航空 基地



● 七基地航空部隊 松山 航空 基地 着信 機所
● 一機動基地航空部隊 松山 航空 基地 着信 機所

● 大海軍 一部・大海軍 三部・呉

● 機密 第二〇〇二〇三 番 電

440

三四三 空 十九日 敵 機 概 報 在 手 追 加 ス

一 未 歸 還 機 一〇 機 九 機 二 訂 正 ス

二 敵 機 グ ラ マ ン 三 (内 一 機 不 確 實) 手 追 加 總 計 五 三 機 (彩 雲 ノ 體 當

リ 手 含 ム)

三 敵 機 セ ル 敵 機 機 搭 乗 員 五 (大 尉 二 名 手 含 ム) 憲 兵 隊 二 名 捕 獲 善

一 通 寺 二 送 付 シ ア ル モ 直 二 軍 令 部 三 部 二 送 付 ス ル 様 連 絡 セ リ。

海 一〇 四 六 四 呂 一 四 七 五 (日) 木 空 基 他 東 野 (木 下)

昭和廿年 參月 廿壹日

三二〇

受信一〇五九

譯了一三四五

電〇九二一〇九

作概



父島根 戰 闘 概 報 着 信 鑑 所

機密第二〇〇八四六番電

二分ノ二

戰 闘 概 報 (三月十九日)

一 二四〇ヨリ三〇分間 P151・一六機來襲ニ見港沿岸ニ銃爆撃

一五五ヨリB124 一機來襲天一湊海岸ヨリ振蕩山ニカケ

百數發投弾内一機ハ三〇分間ニ亘リ執拗ニ本島外周ヲ旋回銃爆撃

一九四六・二〇五八・二一一七・二十日〇〇三六

三 戰 果 ナ シ

三 被 害 重傷一輕傷九名二三四〇及〇一三二ノ五次ニ亘リ各大型單

機來襲大分山附近及外周海面ニ投弾二二四〇ヨリ四〇分間ニ亘リ

大型單機來襲本島周邊ニ暗殺モシモノニ際ス

通 一〇三三八 呂一B々五 (B) 横 通

高濱 (増田)

昭和廿年參月廿壹日

441

三 二〇 受信一〇九三〇八 譯了二一三五 電〇九四九八 誄 通

② 二 一 通

● 東印濠北特情着信艦所

機密第二〇一一四九番電 二分ノ二

ニ艦船ドライス・ルブルム中間海面英艦四北西濠潜水艦ニエキスマ
ウス西方五五〇涅附近英艦一商船四英艦ハ「ダーウイン」「パース」
外四艦所宛キウ一送信パース近海商船一。

（電信課註 本電二分ノ一未着）

442

通一〇六〇八 呂一ヨケ五（一八三六七。五RO）二一 通

山崎（洋員）

三 二〇 受信二一三〇 譯了〇二二〇 留〇九五五六 概
至 急 譯始〇一四五五

松山空基地



七基地航空部隊 概報着信艦所
一機動基地航空部隊 概報着信艦所
大海軍一艦・大海軍本部・機 領

443

機密第二〇一二〇三番電

戦果演説(十九日分)ニ左ヲ追加

一 未歸還機十機ヲ九機ニ訂正

二 陸隊機グラマン三機(内一機不確實)ヲ追加(計五三機)(影響ノ

管ヲ含ム)

三 陸隊セル敵機機搭乗員五名(大尉二名ヲ含ム)ヲ敵兵隊ニテ捕

奪還寺ニ送付シアルモ直ニ軍令部ニ送付スル様進捗セリ。

通一〇六十三 呂一Bケ五(B) 英通 高橋(五 島)

昭和廿年參月廿貳日

三 二〇 受信二〇九三五
 急 始二〇三三五 了二二〇〇
 電 〇〇九三三三 作 稿

作

東 第三三根卜・一〇通

機密第二〇一二二三番電 二分ノ一、二

發 第二 南遣艦隊參謀長

宛 航本總務部長

通報 一〇方面艦隊參謀長

元四KF地區ノ當艦隊擔任ニ件ノ之方空中補給ニ關シ左ノ件配慮ヲ得度

一 空中補給隊ノ組成對海航空部隊卜別行ニ零式水偵三又ハ大經一搭乘員

二 組一夜間飛行可能ヲ以テ組成シ前線補給ヲ主任務トス

三 現有第二南遣艦隊九七式輕油機九〇〇時間發動機二機〇時間ニシ

テ四月初旬更動ヲ要ス前送ノ前線補給ニ主用スル爲更動機ハ新製又ハ

機一〇五六〇・一〇五九七 呂一五五一一八三六七五 KC(一一一) 野村(福田)

局長	一課長						

昭和廿年參月廿壹日

444

0532

三、敵哨戒圈内強行輸送實施ノ爲電波探信儀搭載機及電波探信儀信察員ノ配員。

0533

昭和廿年參月廿壹日

三二〇

受信
譯始一七三〇〇

譯了一八三五

電〇九三一四

作
航本・戦力

緊急

合艦隊

445



一〇三戰隊A・第二哨戒部隊（南號作戰部隊）

東通・横通

機密第二〇一五〇七番電

通設 大海參一部長 大海戦力補給部長 横須賀軍需部長 横領長官

G P 電令作第五七〇號

一 第一挺進航空部 指揮官ハ成ルベク速ナル時ニ輸送機一機ヲ以テ

南島向ク緊急ニ輸送ヲ實施スベシ

二 第三挺進隊司令長官ハ右輸送機ニ依ルル機密第一七二二五一番

號機密人員物件ノ輸送ニ任ズベシ

通一〇五〇二月一Bケ五（B）（G P）

末松（猪）

緊急



三二〇受信一九四〇 譯了二〇五〇 電〇九四三五六 作概〇

佐世保領守府

佐領部隊

海上護衛總隊・聯合艦隊「カナ」船團行動通報着信艦所
一 二 聯合航空隊

機密第二〇一五四〇番電 二分ノ一二

446

二十日一〇〇〇室戸崎ノ一五八度八六渾一六九度一二〇渾及

一八〇度一四〇渾ニ夫々空母四隻六隻及一隻ヲ基幹トスル敵

機動部隊三群アリ

三敵機動部隊ハ本二十日引續キ本七西部方面攻撃企圖セルモノ

ノ如キモ當方面天候不良ニシテ本早朝敵艦載機松山延岡油津

附近各一回及一〇〇〇頃B二九一機内海西部來襲セル外現

在迄敵機ノ來襲ヲ見ズ

通一〇五二一 天二Bケ六 (B) 佐通 (1)
通一〇六一六 霧生・林 (原)

昭和廿五年四月廿六日

三 明日九州方面警戒ヲ要スト共ニ敵機動部隊南下南西諸島方面
來襲アラバ警戒ヲ要ス。

(2)

至急

三二〇 受信一八三二 譯了〇九〇〇 電〇九五八三 作稿〇

昭和廿年參月廿貳日



吳 鎮

大海參一部、松山、鹿屋各航空基地

機密第二〇一六〇四番電

447

坂 發 參 謀

昨日當隊ト交戦スル敵機中ニP七Pト推定ノ双發機ヲ認メタルモノ
アリ捕虜訊問上ノ參考迄。

（東通註 發信艦所ナシ）

〇八六七

呂一Bケ五

（B）

吳通

（渡 瀨）

三二〇〇
受信一九三七
譯始二一四〇

譯了二二〇〇

電〇九三一九

謀通

作戰特別緊急

總無線艦所用共通符號

海南警・高警・第一第五各航空艦隊
第二遣支艦隊P・厦門根・馬公根

機密第二

局長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K

發 高通司令
 八〇五五K〇ニテ三WTD(ルソン所屬攻撃機)ヨリルソン所在攻
 撃機飛行隊E指揮官宛左ノ平文ヲ送信セリ該地點ニ攻撃機墜落セ
 ルコト確實ナリ「一三一五我ガ位置北緯二三度三五分東經一一七度
 四五分」東TUNSTON島沖ノ岩ノ真東ニアリ八四四番機墜落一
 名落下傘ニテ降下ト存シアリ救助艇派出ス。

通一〇六一一月一Bラ十八(九一四五)高二放 野本(猪狩)

昭和廿年 閏月廿五日

昭和十年三月廿八日

三 二〇〇 話受二二二〇

九四五 通

作戰緊急

無上敵艦各戸、支那方面艦隊、各級各艦、父根、
一〇航空艦隊戸、五航空艦隊戸、三航空艦隊戸、聯合艦隊戸

機密第二〇二七一二番電 二分ノ二二

449

發 大海特務班

今時西日本來襲機動部隊ノ動向トモ關聯

P E A . P B 方面ヨリスル敵攻略時減ハ極メテ切迫シアリテ現在迄ノ

通信諜報ノ諸要素ヲ以テスレバ敵關心ハ概ホN M 方面ニ對シ濃厚ト認

ムラル

(一) 三月上旬以降敵ハP E A 以前P E B 方面ニ於テ兵力ノ集中發端ヲ行

ヒ十七日頃ヲ以テ作戰準備完了セルモノノ如シ

(二) 對聯合國商船解放途中部方面出系状況ニ依レバ今時兵力ノ集中ハN

M 作戦前卜略々同等ナリ (二月十一日) 三月十三日三八八隻N M

通一〇六四九 呂一

訓町(金糸)

作戦前一月の中三七四隻

(三) 十七日 P B A 哨戒機二十三機 十八日 P U 哨戒機二十八機 十四、五日頃ノ機動部隊出陣ニ引キ有力部隊十七日前後 P B A 乃至 P U 方面出陣ノ算大ナリ

四十八日以降中部各作戦部隊指揮官ノ通信状況極メテ急迫化シ有リ
四十八日以降末期作動ニ關聯アリト認メラルル新作戦部隊編名符號出現該部隊ニ對スル指令書活潑ナリ (N M E 作戦前ニ於テハ二月十二日ニ出現セリ)

(六) 機動部隊ト P M E 方面監視所間ニ電話ニ依ル特設通信連絡行レアリ
(七) P M E 哨戒機ニ依ル北方並ニ北西方面ニ對スル哨戒活潑ナルニ反シ比島及在支航空部隊ニ依ル N M E 方面ノ哨戒状況ハ特ニ活潑ナラズ

人

三二〇 受信二二二四五
 了二三一〇 電〇九三六九 作 概
 機 密 航 空 基 礎



第一機動基地航空部隊戦闘機着信機所

機密第二〇一七二五番電

本日七〇一部隊ノ攻撃ニヨリ空母一隻沈同一隻大火災ヲ確認セリ戦果ノ擴充ハ正ニ此ノ秋ニアリ各員一層奮勵努力殲敵ヲ殲滅スベシ。

450

一〇七五七 於一五(三九七五) K F G E 富田(福田)

昭和廿年參月廿日

作戰緊急

三二〇 受信二一〇四二 譯了二三〇〇 電自〇〇九四一 作 概

共 符



聯合艦隊口・五航空艦隊口

大海參一部・一、三、一〇各航空艦隊口

機密第二〇一七五二番電

UNB 戦闘概報特六號 (二十日)

一、彩雲一機 (三木大尉機) 〇五四五發 〇九二〇ヨリ 〇九五〇 P U

偵察一三一五着目視狀況左ノ通

(高度一〇〇〇米視界四〇軒薄曇) B二二東半部及C二三正

規空母一 (ニセツクス型) 特空母八 (カサブランカ型) 戦艦八

(ワシントン型三コロラド型一サウス・ダコータ型一其ノ他艦

型不詳) 巡洋艦一〇隻 (タリイブランド型及バルチモア型) 浮

通自一〇六三一 呂二Bケ五 (五一二五) 四通

至一〇六三三 咲花 (川崎)

船渠大二油漕船大一〇飛行艇二〇機D二四E二五艦船ヲ認メズ
 F二六驅逐艦約四〇隻特務艦五隻油漕船大型二輪送船約三〇浮
 船渠小型二〇二七輪送船二隻上空哨戒機ヲ認メズフラツプ島
 飛行場小型機數機アリ上昇シ來ラズ垂直寫真判讀ノ結果後報ス
 ニ彩雲一機PB偵察ノ爲〇五四五出發セシモ途中天候不良ボナペ
 島ノ北東三〇哩ヨリ引返ス一四五着

三二一 東京 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇



上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇
上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇
上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇

上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇

上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇
上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇
上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇

上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇
上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇
上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇

上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇

上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇



上海 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇 〇二〇〇〇

昭和廿五年三月廿四日

三 二〇受情二一三二 譯了二二二〇七 電〇九四一三 作 概〇
譯始二一五〇 電〇九四一四

緊急

符 共



先遣部隊 聯合艦隊 戸

機密第二〇二八〇四番電 二分ノ一ニ

ⅡB 綜合情報第三五號

一 其ノ後ノ偵察ヲ綜合スルニ第五八機動部隊ハ四群ヲ一四五〇
地點ソウウ一四 空母一其ノ他數隻針路南一五〇〇地點ソチウ
四一空母三戰艦三其ノ他十數隻針路南速力二〇節一五二五地點
ヲラウ三一空母二戰艦二針路南西速力二〇節一詳ハ〇九五〇地
點ソチヌ三一ニアリシ空母四隻ナルモ其ノ後動靜不明何レモ南
方ニ避退行動中

ニ機動部隊使用電波 四四二〇KC 六四二〇KC 六七一〇KC 六〇〇五KC
五一三五KC 四四七五KC 八七七〇KC

通 一〇六四五 呂一Bケ五(五二九五C) 六重口放
一〇六五五

相澤(原)

453

三二〇

受信二二四八
譯始二二四〇

譯了二三二〇

電〇九三五五

作概

至急

● 松山航空基地



● 一機動基地航空部隊戰術概報着信艦所
● 七基地航空部隊戰術概報着信艦所

● 聯合艦隊口・吳 鎮

機密第二〇一八二八番電

454

三四三空戰術概報第三號三月二十日

一、邀擊紫電及紫電改延一九敵ヲ見ズ

二、彩雲一機一一三〇發進足摺南方敵損傷艦索敵發見スルニ至ラズ

三、〇四五〇敵小型機一乃至二機來襲飛行場附近銃爆撃シ被害ナシ

四、明日ノ使用可能機紫電一一機紫電改三八機彩雲二機

通一〇六七二

呂一〇ケ五

（B）

吳通

寒河江（渡瀬）

傍

三二〇受信二二四八
譯始二三〇五
作戰特別緊急

● 鹿屋航空基地

航作概
本〇

● 一機動基地航空部隊作戰命令着信機所

機密第二〇二〇一一二番電

一 K F G B 信電令作第一四二號

各隊連日奮戦ニ依リ大打撃ヲ被リタル敵ハ潰走シツツアリ明二十一日各隊ハ左記ニ依リ殘敵掃蕩スベシ

一 一 一部隊〇六〇〇發進A區(都井岬ノ一二〇度ヨリ一五五度間
五〇〇埋圍)索敵觸接

二 七六二部隊銀河隊〇八〇〇發進A區索敵攻撃

三 七〇一部隊天山隊〇七〇〇發進B區(都井岬ノ八〇度ヨリ一二〇

度間三五〇埋圍)索敵攻撃

四 七二一部隊ハ特令ニ依リA區B區内三〇〇埋圍ノ攻撃(陸攻約
二ヶ中隊)

通一〇七三〇 於一四(三九三七)五KC(一G F G B放

昭和廿年參月廿壹日

人

三二一 受信〇二四七 譯了〇四三〇 電〇九四六一
譯始〇四〇〇

作戰緊急

● 横濱航空基地



● 厚木、第二鈴鹿各航空基地

● 聯合艦隊司令部・五航空艦隊司令部・國分、横須賀各空

機密第二〇二〇三一番電

456

一 U P B 信電令作第三二號

第一第二空挺隊指揮官、明二十一日早朝夫々輸送機五機ヲ横須賀航空
基地ニ派遣五〇番爆彈三〇（一機三個搭載）ヲ二十一日中ニ第一國分
基地ニ空輸七〇一空ニ引渡スベシ（聯合艦隊電令作第五七一號關聯）

通一〇八一四 品一Bケ五（B）横通 菅原（林部）

昭和廿年三月廿五日

作戰緊急



三 二一 受信一八七〇〇 譯始一八三〇 〇〇九七八七 概〇

第三南遣艦隊

南西方面艦隊

第五基地航空部隊・第一遊撃部隊

機密第二〇二〇四〇番電 二分ノ一二

陸軍報

二十九日一一〇〇戰車十數輛ヲ伴フ敵(兵力不明)「モロ」(イロイロ)西方二軒ニ來襲 一四三〇敵ノ艦砲射撃ヲ受ケツツアリ〇九三〇「イロイロ」ノホボ三〇軒驅逐艦一東進 二十八日一二〇〇敵巡洋艦四隻驅逐艦七隻「ミアガオ」(「イロイロ」)方約二十哩(附近海上ニ碇泊シツツアリ別ニ驅逐艦一「オトシ」(「イロイロ」)西方約十軒)海上ニ游弋シアリ。

通一六七三 於一〇(一五七一〇K)三二週 小野寺(榛澤)

昭和廿年陸軍部

457

0549

三十八日朝來敵機（イロイロ）市ヲ偵察哨戒嚴重ニシテ午前四時
四機午後五時二五 六機同地ヲ銃爆撃セリ

三二一 受信〇〇四三五 譯了〇六〇〇 電〇九四九五 作概



大本營海軍部・海軍省・聯合艦隊
一南遣艦隊

共

符

機密第二〇二二三一番電二分ノ一

458

佛支根據地部隊明作戰戰聞概報其ノ七

第一期作戰ニ於ケル俘虜並ニ主要接收兵器彈藥等左ノ通尙今後若干増加セル見込

一、俘虜

佛人士官三二名下士官兵三六五名 安南人下士官兵七三〇名

二、主要接收兵器

（電信課註 本電三分ノ二未着）

通一〇八四六 呂一〇ケ五（六二三五）十通 田中（松山）

三二二 受信 〇〇三二七 開始 〇〇三二七 了 〇四〇〇 〇〇九四六六 作 概

至 急



一 機動基地 航空部隊 戦闘 概報 着信 録所

459

機密 第二〇二二四〇番 二分ノ

一 K F G B 戦闘 速報 (二十日二一三〇)

二十日 戦闘 速報 中七〇一部 隊 各 星 未 降 速 報 三 機 中、マ 機 の、六三〇

地點「イヲ三ツ」ニ於テ 大型 航空 母 艦、爆 撃 機 隊 附近ニ 大 火 災ヲ 生

ギンメタルヲ 確認シ 高知ニ 降 投シ アルコト 判 明ナリ

二 二 段一 番 索 敵 機 降 投 後 報 告ニ 依 レ パー 五 一 五 地 點「ヲカカ」附 近

ニ 直 徑 二 〇 〇 〇 程 度 ノ 油 紋 中ニ 浮 流 物 多 數一 六 〇 〇 地 點「ヲル 四 二

附近 短 艇一 艘 獲一 六 一 〇 地 點「ソル 一 力」附 近 箱 二 個一 七 三 五 地 點

「ヲ ヒー サ」附 近 幅 二 〇 〇 米 長 サ 六 〇 〇 米 程 度 ノ 油 紋 四 箇 所 東 西 方

向ニ 浮 流 ア ルヲ 認 ム 通 一 〇 八 五 〇 通 一 〇 八 五 八 於 一 五 (三 九 三 七 五 K)一 五 〇 〇 放 中 川・仙 波 (林 部)

昭和廿年参月廿五日

昭和廿年參月廿壹日

三二一
作戰緊急
受信〇四三〇
開始〇五五二
了〇六二〇
電〇九四九二
〇九四九三
作概
統本



八基地航空部隊
航空隊

機密第二〇二三〇一番電 三分ノ二

八 P G B 電令作第四號

一、實用機保有各隊ハ左ノ要領ニ依リ全力ヲ舉グ作戰準備完成スベシ

(1) 戦闘機

〔固有戦闘機隊五二型以上ハ極力整備空戦可能ノ如クシ主トシテ

教官教員中技倆優秀者ヲ以テ戦闘機隊ヲ編成

〔戦闘機特攻隊 右以外ノ飛行機ヲ使用訓練中ノ特攻員ヲ充當

陸攻隊 九六式陸攻以上ヲ充當特攻準備トシ搭乗員ハ全定員トシ

テ編成

通
一〇八三〇
一〇八四一
呂一Bケ五 (B) 霞空 西村 (松山) (1)

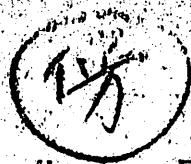
0552

460

(ロ) 隘攻 繼爆水偵隊 特攻準備 搭乗員ハ全定員訓練中ノ特攻員ヲ
充當

ニ各隊ハ保有機材ノ戦力化ヲ急施スベシ。

一 電信課註 本電三分ノ三未着



三二一 受信一四四五 譯始一三三〇 譯了二四〇〇 電〇九七一九 航作 本概〇

作戰緊急

第八基地航空部隊

霞ヶ浦航空隊

機密第二〇二三〇一 番電 三分ノ三、二

八FGB 電令作第四號

各隊ハ二十一日以降毎日一二〇〇ニ於ケル作戰可動機數ノ狀況ヲ

左ニ依リ報告スベシ

(イ) 作戰可能機數 (ハ) 數字三字)

(ロ) 作戰可能ナルモ特攻不能機數 (ハ) 數字三字)

(ハ) 作戰可能機材機數搭乗員ノ狀況ニ依ルニ用不能機數 (ハ) 數字三

字) (ハ) 内文字ハ記號數字ハ機數ヲ示ス。

電令課註 本電三分ノ一、二既配布)

通一〇一〇 呂一Bケ五 (B) 霞空 清水 (横田)

昭和廿年參月廿貳日

通一〇九六四 多七六（六六八五〇）空基地 山本（榛）澤

神雷攻撃ヲ決行ス 極力觸接ヲ持續セヨ。



一〇三五

局長	
一課長	
A	
B	
E	
J	
G	
H	
K	
L	
I	
C	
F	
D	

462

三二二 受領一〇四三 電話一〇五五 電話一〇五五 電話一〇九六〇三 航作 本概〇

第一機動偵察隊航空部隊 第十一偵察隊第一隊索敵機

昭和廿年參月廿壹日

人

三二一 受信一四二一 譯始一四五〇 譯了一六一〇 電〇九七二九 航作概本〇
作戰特別緊急 鹿屋航空基地

作

一機動基地航空部隊作戰命令着信艦所
〔通報表示〕 一航空艦隊司令 部殘留隊 (香取基地)

機密第二一〇〇四五番電

一 F F G B 信電令作第一四七號

二十一日〇八二三 二十一日標「シヘーサ」及「シヘ三ク」ニ敵二群
有リ内一群ハ空母二隻ヲ命令東方ニ放走中七二一部隊 (神雷) ハ準備出

來次第發進此ノ敵ヲ擊滅ススシ。

〔東通電〕 本電誤字極メテ多シ

463

通一〇一〇二二 一四 (一一三同七、五K) 五 F G B 放 皇月 (公井)

昭和廿年參月廿貳日

昭和廿年參月廿貳日

三二二一 受信〇九〇六 譯了 一〇五四 電〇九六〇一
譯始 一〇二六 〇九六〇二 潛作 概〇
艦

緊急

共

符



先遣部隊 一潜水部隊 五航空艦隊
聯合艦隊

機密第二一〇六五〇番電 二分ノ二

發 呂號第四一潜水艦長

一三三五地點へウス 於テ北方ニ吊光彈數發及敵艦ノ對空射撃ヲ

發見續イテ爆撃音ニ聽取ス集團音一旦兩下ヒルモ反轉シ〇一二五北

方ニ聽失ッ

三〇三二三地點へウコ 於テ電波探信機(漣波)感受爾後音源數箇

捕捉之ガ攻撃ニ努メタルモ〇五一五編逐艦一隻(敵ノ最右翼ト認メ

ラル)兩下スルヲ認メ敵空母ヲ認メズ。

464

一〇八九六

呂一〇ケ五 (五二九九) 六

詳

作戰緊急

三 二 一
受信 一一〇四二〇
開始 一一〇五二〇
譯丁 一一二二三
電 〇九六〇六

航作
本概
〇

● 鹿屋航空基地

● 第一機動基地航空部隊作戰命令着信鑑所



機密第二一〇九四五番電

一 K F G B 信電令作第一四七號

二十一日〇八五八地點「シヘーサ」及「シヘ三ク」ニ敵二群（内一群
空母二隻ヲ含ム南方ニ敗走中）七二一部隊（神雷）ハ準備出來次第發
達此ノ敵ヲ擊滅スベシ。

通一〇九七四 於十國（七八七五〇）一 K F G B 放 清水（森 田）

465

昭和廿年參月廿壹日